

2025 年度 厚木市テニス協会 代表者懇談会 議事録

日時：2025 年 11 月 22 日 16 時より 18 時

主催：厚木市テニス協会

出席者：

◇出席団体(参加者名)：

アンリツ(米山)、NTT R&D(清水)、新厚木 TC(北原)、スター TC(高柳)、ソニー厚木(千田)、チャンス TC(藁科)、日産テク(上田)、FATC(藤原)、宮の里 TC(高橋)、森の里 TC(近藤)、ASTEMO 厚木(横田)、リコー(青木)、チェリー(荒木)、ネットイン(栗原)、Good shot(禰津)、ナイスショット(瀬脇)、厚木 HKF(中村)、J テニスクラブ(渡部)、中途参加 T.O.P(久保) 以上 19 団体(敬称略)

◇欠席団体(代表)：

HLTC(國府田)、チャレンジ(池田)、ハイファイブ(横山)、リハビリ(川瀬)、4 団体(敬称略)

◇役員

橋本会長

◇理事(敬称略)：

出席理事：和田、川端、大下、利行、深瀬、稲村、大沼、北村、荒木、厚海、茅根、生方、近藤、西、橋本、金田、以上 16 名(敬称略)。

欠席理事：榎本、池田、川崎、宮里、松谷、横山、高原、風間、石井、山口、大谷、高村、山下、鈴木 14 名(敬称略)

代表兼任理事：荒木 1 名(敬称略)

司会進行：荒木(チェリー) 記録：生方(リハビリ)

1. 開会・挨拶

橋本会長挨拶

季節の変わり目における体調管理への注意喚起とともに、来年迎える協会創立 50 周年に向け、加盟団体の協力と活発な意見交換をお願いしたい旨の挨拶があった。

2. 出席者自己紹介

各加盟団体代表者および理事による自己紹介が行われ、各団体の現状(高齢化、若手の加入状況、活動内容など)について一言ずつ報告があった。

また、29 名の理事により事務局、トーナメント部、指導部、IT 担当理事が組織されている運営体制の説明があった。

3. 活動報告と今後の予定

1) 協会全体について(和田理事長)

(1) 基本方針

「会員の会員のための参加型協会」という伝統の継承、公平性の確保、説明責任、特定の個人に依存しない仕組みづくり、ルーチン作業の効率化（DX 化）について説明。

(2) 課題

加盟団体数・会員数の減少（10 年で約 10 団体減）、高齢化、ジュニア大会参加者の減少、役員・理事のなり手不足など。

2) 指導部（和田理事長 代読）

(1) 活動報告

厚木市スポーツ協会主催の各種テニス教室への講師派遣、年 3 回の指導者養成テニス教室（プロコーチ招聘含む）、県公認指導員検定練習会の実施。

● 来年度予定

5 月・9 月の教室、50 周年記念教室（6 月・11 月）の計画。

3) トーナメント部（川端部長）

(1) 活動報告・予定

今年度の各種大会実績および来年度のスケジュールについて報告。来年度も基本的には今年度と同様の日程で開催予定。

(2) 50 周年記念行事

2026 年 11 月 21 日・22 日に南毛利テニスコート全面を使用した記念大会を予定。

(3) 連絡事項

- 県クラブ対抗戦：参加資格が「コートを保有しているクラブ」に変更。
- 大会運営：運営担当者のサンダル履き事例があったため、テニスシューズ着用の徹底を要請。
- 登録名簿：新年度登録や追加登録の提出先（事務局またはトーナメント部）の区分けについて再確認と徹底のお願い。

4) 事務局（和田事務局長）

(1) 活動報告

事務局の役割分担（スポーツ協会・県協会窓口、会計、理事会運営、コート調整、名簿管理など）や、LINE グループ・Google ドライブを活用した効率化の取り組み。

5) IT 担当（橋本理事）

(1) 活動報告

ホームページの管理・更新、サーバーおよびメーリングリストの管理。

4. 厚木市テニス協会 50 周年記念事業について（橋本会長）

1) 現状と方針

人手不足・高齢化・予算縮小（積立金不足）のため、過去のような大規模イベントや式典パ

ーティーは行わず、通年行事の一環として実施。記念誌はデジタル化（HP よりダウンロード）、参加賞・記念品で加盟員への還元を重視。

2) 主な事業

- 記念テニス大会：2026 年 11 月 21 日・22 日（南毛利全面）
- 記念テニス教室：2026 年 6 月（ヨネックス）、11 月（ダンロップ）
- 記念誌の作成（祝辞・寄稿文・あゆみ等）製本はせずデジタルデータ対応。
- 表彰（貢献者の選出等）
- 参加賞・記念品の配布（予算から商品を検討）
- 大会運営マクロ（Excel）の刷新（26 年度に併用利用、27 年度に完全刷新）
- ホームページのリニューアル

3) 協力要請

2026 年 4 月に実行委員会を立ち上げるため、各加盟団体より 1 名以上の有志（運営委員）選出をお願い。現理事についても、可能な限り 50 周年事業のために継続して関わってほしいとの要望。

4) 質疑応答（50 周年関連）

- 質問 式典は 26 年度の総会後という理解でよいのか？
回答 その通り。
- 質問 運営委員を来年 4 月までに募集か、4 月には運営委員会を開催のいずれか？
回答 4 月から運営委員会で検討を始めるため、その段階までに選出。募集時には今回提示した大枠の内容を提示する。
- 質問 全団体から必ず 1 名選出する必要があるのか？
回答 規模を縮小するため 1 団体 1 名で賄える。理事以外に協力者 1 名が望ましい。
- 質問 現理事継続という話であるが新理事をすでに決めている。現理事が 50 周年事業に参加するか分からない。協会で現理事には個別に確認して欲しい。
回答 現理事が変わる場合には協会として現理事に 50 周年事業のサポート協力が可能か確認したい。
- 質問 イベントにより作業ボリュームに違いはあるのか、また記念テニス教室は現状の指導部体制できるのではないか
回答 ボリュームはまだ分からないが人員配置で調整をしたい。現状できるのであればそのやり方もあるかもしれない。
- 質問 各団体で運営委員を出しなさいとした方がよいのではないか。
回答 40 周年は理事以外に出してもらうことを前提にしたが、50 周年は規模を縮小しているので絶対ということでないが是非協力をしてほしい。
その他、和田理事長より各団体から 1 名の運営委員を出すことに対する意見を求めたが特に意見等はなし。

5. 加盟団体からのご質問・ご要望（質疑応答）

Q 1 大会申込用 Excel ファイルの刷新について（チャンス TC）

- 要望：ファイル形式が古く扱いづらいため新しくしてほしい。

- 回答：50 周年記念事業の一環としてリニューアルを実施予定。
- Q 2 MIX ダブルスの年齢区分について（森の里 TC）**
 - 要望：新設された 130 歳以上について、他市（伊勢原・海老名）に合わせて 140 歳以上にしてはどうか。
 - 回答：今期新設したばかりであり、昨年の 120 歳以上のエントリー状況などを踏まえて設定。まずは様子を見させていただきたい。今後の検討課題とする。
 - 140 歳の新設ではなく 130 歳を 140 歳に変更するという要望であった。トーナメント部で検討する。
- Q 3 男子シングルの年齢区分追加について（森の里 TC）**
 - 要望：65 歳以上が最年長だが、その上のクラス（70 歳、75 歳等）を増やしてほしい。
 - 回答：選手権では 75 歳以上も設けており需要があることは認識。前向きに検討する。
- Q 4 運営への感謝（リハビリ）**
 - 内容：秋のトーナメント幹事の際、欠席者が出て困っていたところをトーナメント部（池田氏）に助けていただいたことへの謝辞。
 - 全体共有：こうした感謝の言葉は協会の励みになるため、ぜひ声を届けてほしいとのコメント。
- Q 5 市民大会の女子年齢別・男子 75 歳追加について（ナイスショット）**
 - 回答：前項と同様、トーナメント部にて検討。
- Q 7 大会での待ち順番表示について（ナイスショット）**
 - 要望：コートごとではなく全体での待ち順表示にしてほしい。
 - 回答：現行方式（コートごとの表示）を変更する予定はない。
- Q 8 チャンピオン大会への年齢別導入について（厚木 HKF）**
 - 要望：団体戦に年齢別（100 歳、120 歳等）を取り入れてほしい。
 - 回答：エントリーが分散・減少する可能性があるため現状は変更予定なし。今後要望が多数あれば検討。
- Q 9 受付時の申告方法について（厚木 HKF）**
 - 要望：受付時に苗字だけで選手を呼ばないで欲しい。受付に来た際に「種目→ドロ番号→フルネーム」の順で申告するよう徹底してほしい。
 - 回答：フルネームで呼ぶことを含めて、今後も周知・徹底を図る。
- Q10 対戦表掲示後のボール受け取りと案内について（厚木 HKF）**
 - 要望：手順を明記した案内を掲示したい。
 - 回答：掲示物による案内は検討。代表者からも新規参加者等へ受付ルールの説明をお願い。
- Q11 雨天時の傘の使用について（厚木 HKF）**
 - 質問：ベンチで傘を開いたままにして注意されたが、どちらが正しいのか。
 - 回答：傘を開いたままにすると風でコート内に飛ばされる危険があるため、「注意する（閉じさせる）」のが正しい対応。ビニール袋持参を推奨。

6. 閉会

和田理事長挨拶

長時間の審議への感謝とともに、来年の 50 周年に向けた協力をお願いがあり、閉会となった。

以上